

人と情報のエコシステム(HITE)

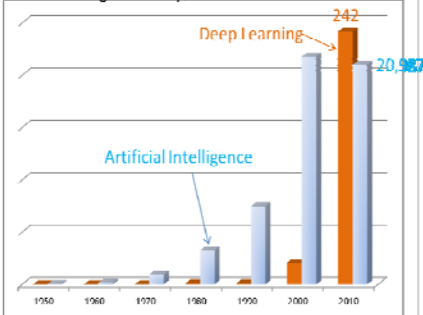
—平成29年度募集説明会—



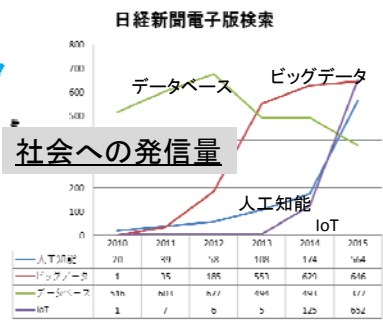
背景-1) 情報技術の急速な進歩

- ビッグデータ型人工知能、ロボット、IoTといった情報技術が社会システムの中へ実装されはじめている。

米国ACM Digital Library論文数

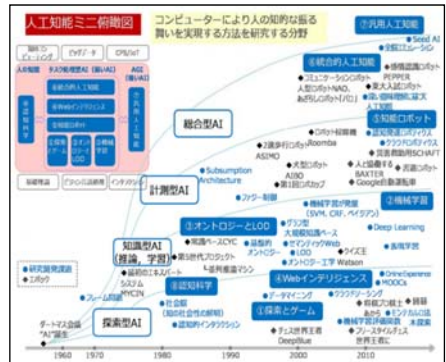


<http://www.nikkei.com/>で記事検索



JST/CRDS俯瞰報告書より

<http://www.jst.go.jp/crds/pdf/2015/FR/CRDS-FY2015-FR-04.pdf>



- 国内外ともに、研究組織創設などの取り組み強化が相次いでいる。

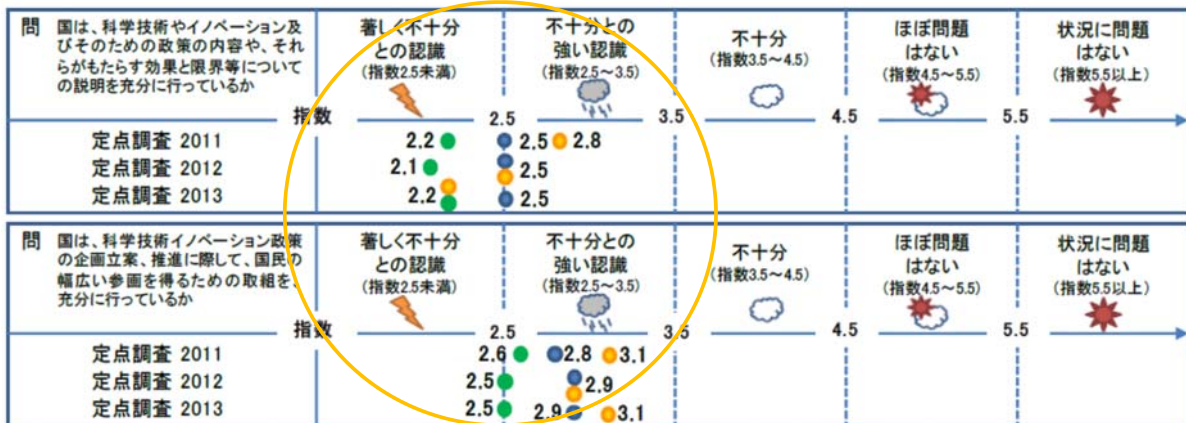
		<文部科学省> 理化学研究所 AIPプロジェクト	<経済産業省> 産総研	<総務省> 国立研究開発法人 情報通信研究機構
	Recruit Institute of Technology	JST	AiRC	等… (画像は各所ホームページより)

背景一2) 第5期科学技術基本計画での問題意識

- …AIが搭載されたロボット等による事象に対する責任や、ネットワーク上の個人情報削除する権利の問題など、新たに生じている問題への適切な対応等を進めていく必要がある。
- サイバー空間の急速な発展により新たに生じ得る倫理的・法的・社会的課題に関し、分野横断的・学際的な研究・検討を推進し、制度の検討や技術の研究開発に反映していく。

【社会と科学技術イノベーション政策に関わる意識】

・国や研究者コミュニティの科学技術に関する説明、倫理的・法的・社会的課題対応は十分との認識。



第5期科学技術基本計画資料より
<http://www8.cao.go.jp/cstp/tyousakai/kihon5/1kai/siryoyo6-2-15.pdf>

3

背景一3) 英米研究組織の取組み状況

- AIの急速発展に対し世界のリーダーたちが懸念を表明。



スティーブン・ホーキング



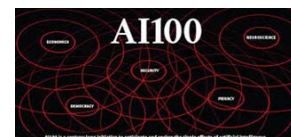
ビル・ゲイツ



イーロン・マスク

- 英米の人工知能に関する研究プロジェクトやセンターは、連携しながら未来社会の在り方について議論を進めている。

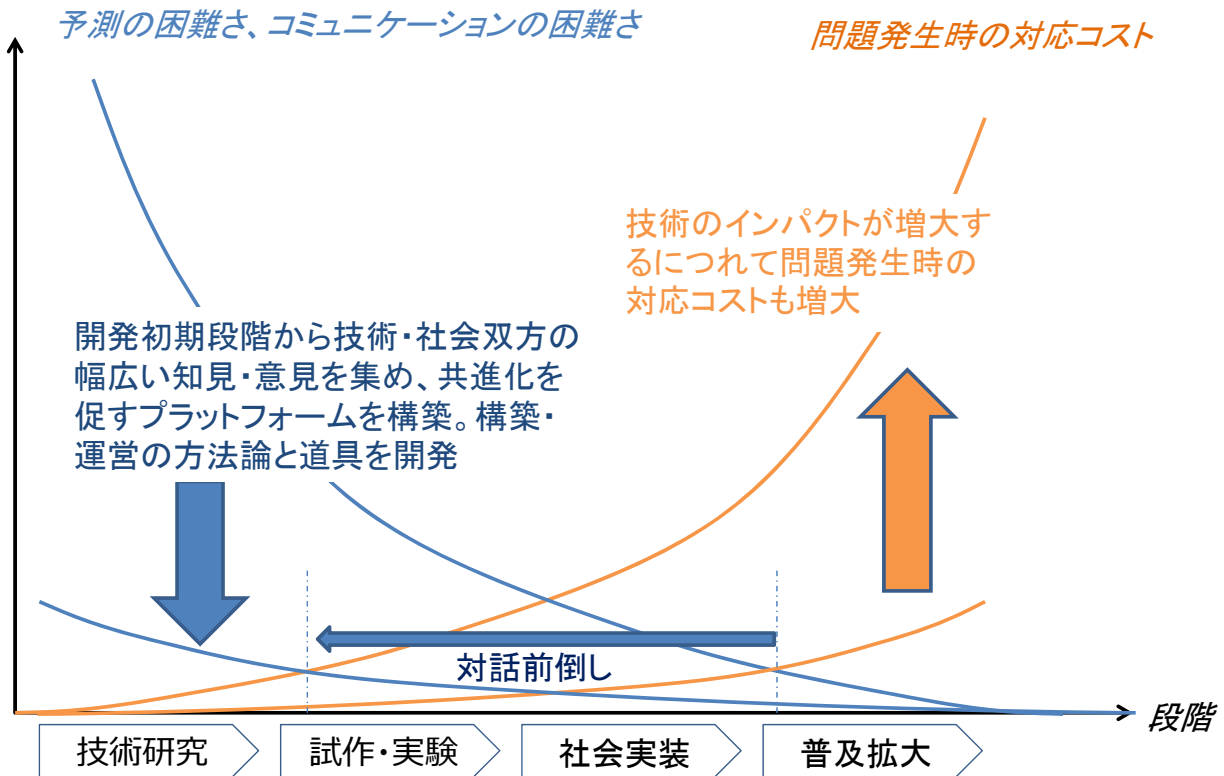
江間有沙:「人工知能と未来」プロジェクトから見る現在の課題、人工知能学全国大会2015 予稿集



- The Future of Life Institute (FLI)は、Elon Muskの1,000万ドルの寄付によるファンドを立ち上げ(2015年1月)、37の採択プロジェクトによる研究活動を開始。
 →「AIをより有能にする研究だけではなく、AIの社会的利益を最大化する研究」
 →「社会とAIの両方に関わる研究であるため、必然的に学際的な取組みを求める」

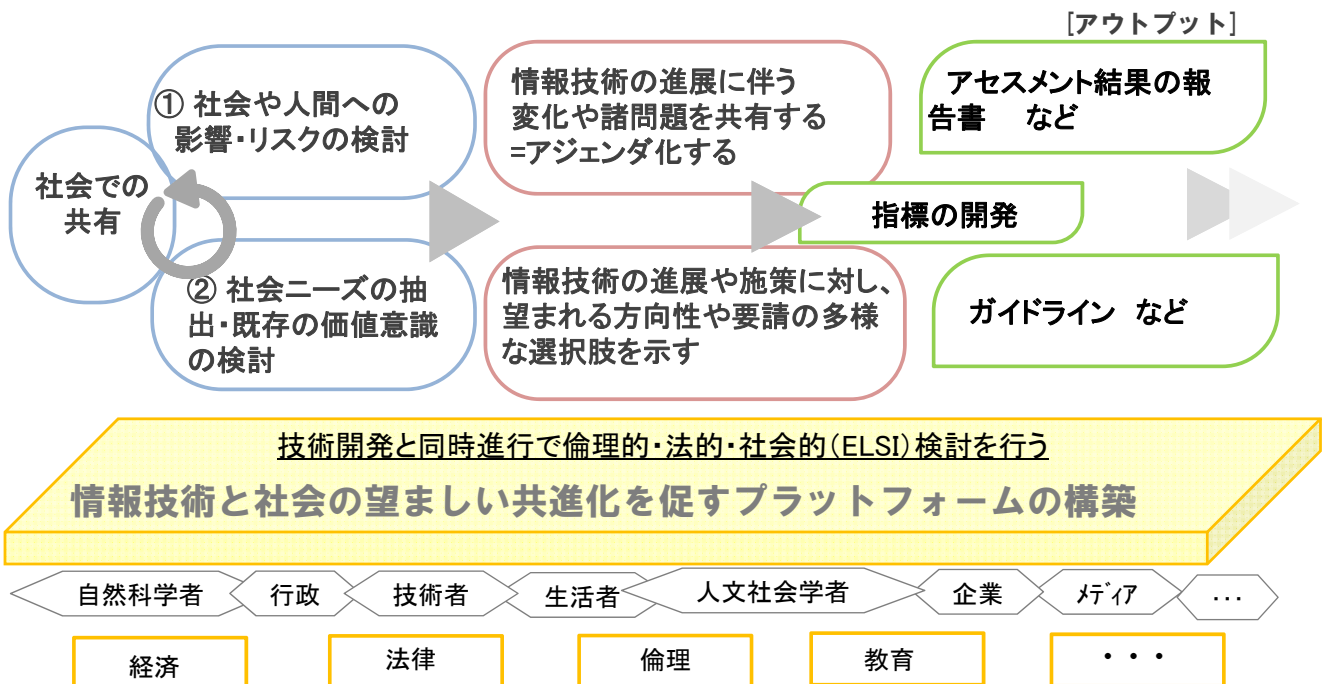
4

インパクトが大きくなる中で 人文社会科学と技術の対話が重要



「人と情報のエコシステム」領域の目標

- 情報技術と人間のなじみがとれている社会を目指すために、情報技術がもたらすメリットと負のリスクを特定し、技術や制度へ反映していく共進化プラットフォームの形成を行う。



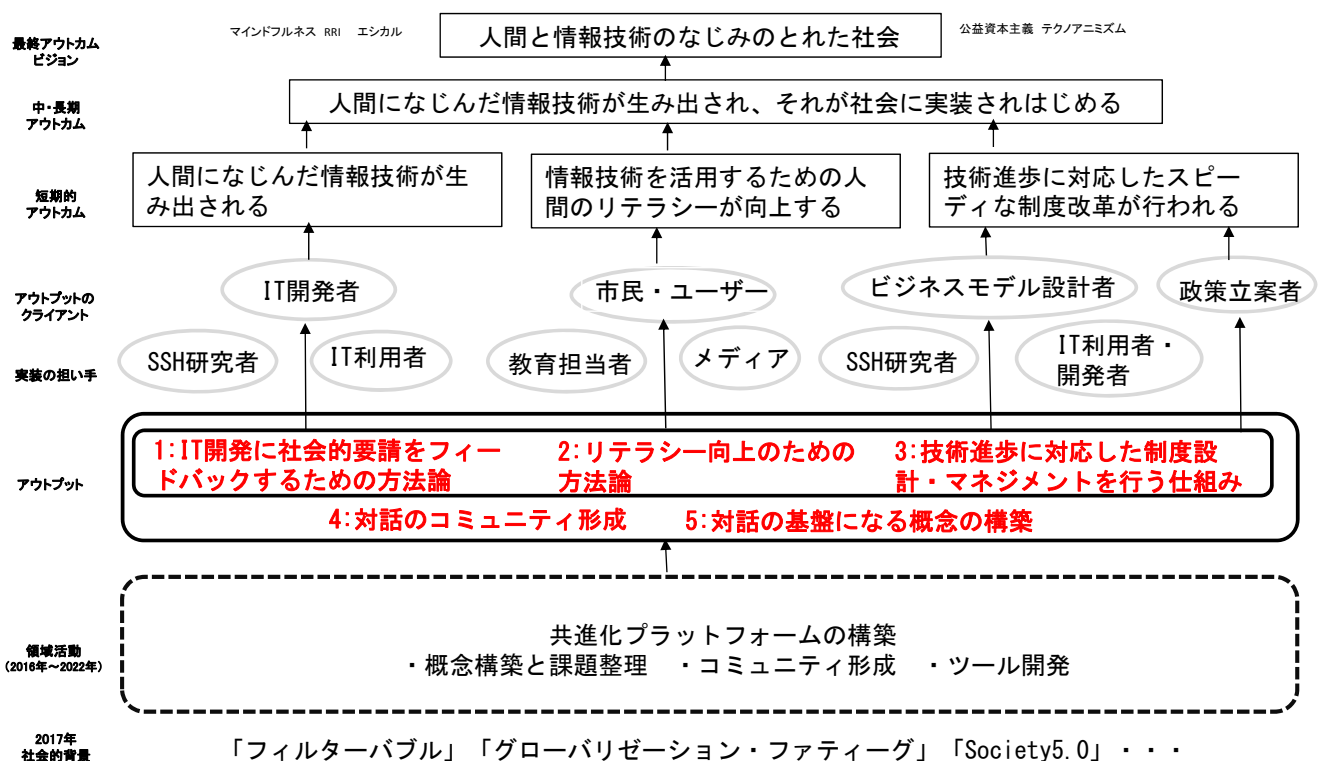
本研究開発領域の研究対象

「AIなどの情報技術を使った機械が製作者たる人間の直接的介入なく自律的に学習・判断・自己再生産などを行うと考えられる範囲が拡大し、機械と人間からなるシステムにおける人間の役割の根本的再検討が求められるようになってきていることに伴う社会的課題への対応」とします。

機械にはロボットなどのハードウェアをもつもの以外に、純粋なソフトウェアも含まれることとします。

なお、「製作者の意図から独立した機械の自律性は存在するのか、そもそも自律性とは何か」といった根源的な問いについては、否定する議論、肯定する議論を含め様々な議論が存在します。このような問いに関する概念の構築や、その技術的・社会的含意の検討も本領域の対象に含まれるものとします。

本研究開発領域が目指すアウトプット



研究開発領域総括・アドバイザー(2017年4月現在)

役割	氏名	所属機関	役職
総括	國領 二郎	慶應義塾大学 総合政策学部	教授
総括補佐	城山 英明	東京大学大学院法学政治学研究科	教授
AD	久米 功一	東洋大学経済学部総合政策学科	准教授
AD	河野 康子	一般社団法人 全国消費者団体連絡会	事務局長・代表理事
AD	砂田 薫	国際大学グローバル・コミュニケーション・センター	主幹研究員
AD	土居 範久	慶應義塾大学	名誉教授
AD	西垣 通	東京経済大学 コミュニケーション学部	教授
AD	信原 幸弘	東京大学大学院総合文化研究科	教授
AD	松原 仁	公立はこだて未来大学	副理事長
AD	丸山 剛司	中央大学理工学部	特任教授
AD	村上 文洋	株式会社三菱総合研究所 社会ICT事業本部 ICT・メディア戦略グループ	主席研究員
AD	村上 祐子	東北大学大学院文学研究科	准教授

9

平成28年度採択の研究開発プロジェクト(5件)

プロジェクト名	研究代表者 所属・役職	担当1 (敬省略)	担当2 (敬省略)
多様な価値への気づきを支援するシステムとその研究体制の構築	江間 有沙 東京大学 教養学部附属教養教育高度化機構 特任講師	村上(祐)	西垣
日本のWellbeingを促進する情報技術のためのガイドラインの策定と普及	安藤 英由樹 大阪大学 大学院情報科学研究科 准教授	西垣	松原
「内省と対話によって変容し続ける自己」に関するヘルスケアからの提案	尾藤 誠司 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 臨床研究センター 政策医療企画研究部臨床疫学 研究室 室長	信原	村上(文) 河野
未来洞察手法を用いた情報社会技術問題のシナリオ化	鷺田 祐一 一橋大学 大学院商学研究科 教授	久米	城山 河野
法・経済・経営とAI・ロボット技術の対話による将来の社会制度の共創	新保 史生 慶應義塾大学 総合政策学部 教授	丸山 城山	松原

10

募集
締切

6月8日(木)正午

書類選考	6月～8月
面接選考会	8月15日(火)、8月16日(水)
選考結果の通知・発表	9月(予定)
研究開始	10月(予定)

- 問い合わせ先: 国立研究開発法人科学技術振興機構
社会技術研究開発センター企画運営室 募集担当
E-mail: boshu@jst.go.jp Tel: 03-5214-0133